

# 山あいの40kmを踏破

## フロンティア・アドベンチャーリーダー研修会

電気がない、ガスがない、水が十分使えない、テレビ・冷蔵庫はもちろん。

こんな「ないないづくし」の無人島や山奥で、まるでロビンソンクルソーのような生活を体験させる事業が、ここ数年、盛んに行われるようになりました。

そこで町子ども会育成連絡協議会では、今年初めての試みとして、「フロンティア・アドベンチャーリーダー研修会」を開催しました。この研修会は、南房総の大

多喜町から君津亀山までの40kmを2日間かけて歩きながら、自然生活を体験してもらおうと行われたもので、参加したのは、町内の小・中学生18人。出発前に3班に分かれ、班ごとにコースを決めて午前11時、雨の降る中を今日の宿泊地「養老溪谷」に向けて出発しました。

はじめは足どりが軽く歩きだした子どもたちですが、10km地点では、弱音をばく子どもたちもでてきました。でも、そこはグループ行動。「みんな

ながんばろう！」と励まし合いながら歩き出します。農家の軒先を借りての雨やどりでは、地元の人との交流もありま



した。そして夕方になると、宿泊地の養老溪谷には、疲れきったよ

うすの子どもたちが、グループごとに集まってきます。そこには、寝る場所を決めるより、まず腹ごしらえを——と、夕食の仕度に取り組む姿がありました。

使い慣れないキャンプ道具での夕食を済ませると、早々にテントの中へ。

2日目は君津亀山までの約20kmに挑戦。子どもたちはさすがに疲れを隠せないようで、途中何度も休憩しながら、全員無事、亀山に到着し、念願



今晚のおかずは何がな。早く、早く

の40kmを踏破しました。

どの子どもも初めての体験とあって、夜はファイヤーを囲み、「お互いがんばったね——」とたたえあっていた。

ふだんの生活とかなり離れた環境で、初めて出会った仲間と汗を流しながら、一つのことを協力して成し遂げた子どもたちが、ひと回り大きくなったように見えました。

### 文芸

#### 俳句

排気音灼ける道路に募らせて

玉虫だけし

梅干して露とる夜の空模様

藤代 ゆう

緋扇の水揚げもよき茶室かな

若梅あやめ

海暑の廊ナースは白く歩みおり

伊藤 啾霜

神燈を吊す素足の白さかな

勝又 和徳

島灼けて祠の燈明揺れもせず

戸村 静華

片蔭に憩へる老の母に似し

宮内 澄男

灼くる砂ここに生きてる名なし

草 海保 きみ

梅干して海の香よりも濃ゆかり

山口 一秋

靴音は灼けし舗道に吸はれたる

(選者) 土屋 栗水

#### 短歌

ふる里の祭りを見るも久しぶり  
神輿の渡御に女性もまじる

向後 泰治



さあ出発!? がんばるゾ



あーあ、あと何kmあるの?